



こぼしがわりゅういき  
**10. 小橋川流域**

この地域は、成田市の南西部に位置する小橋川の全流域を含んでいます。小橋川に沿って、水田が細長く広がり、その両岸には丘陵地が接しています。小橋川上流には成田ニュータウンが位置しています。成田ニュータウンは、ほとんどがコンクリートやアスファルトで覆われている一方で、街路樹や公園に緑地も整備されています。小橋川沿いの水辺には、ヨシやクサヨシなどの背の高いイネ科の植物が群落をつくっており、水田周辺にはオモダカやコナギからなる水田雑草群落が見られます。丘陵地の多くは、スギ・ヒノキ植林となっていますが、これらに混じって落

葉樹の群落も見られます。水辺では、トンボやチョウの仲間が多く見られ、樹林地では、カミキリムシの仲間などの甲虫が多く見られます。谷津田では、ヨシに止まって鳴いているニホンアマガエルや水田の畦に産卵するシュレーゲルアオガエルなどが多く見られます。また、畦では、ニホンカナヘビやモグラ塚も多く見られます。鳥類は、水田で餌を採ったり、休息したりするサギやシギの仲間が多く見られるほか、川面を泳ぐカモの仲間が見られます。また、樹林地ではホオジロの仲間や、木の実や昆虫を食べるシジュウカラなどの鳥類が多く見られ、上空を舞うオオタカも見られます。



水鳥が多い成田病院南側の調整池



JR成田線・郷部大橋



雷神社の社寺林

**凡 例**

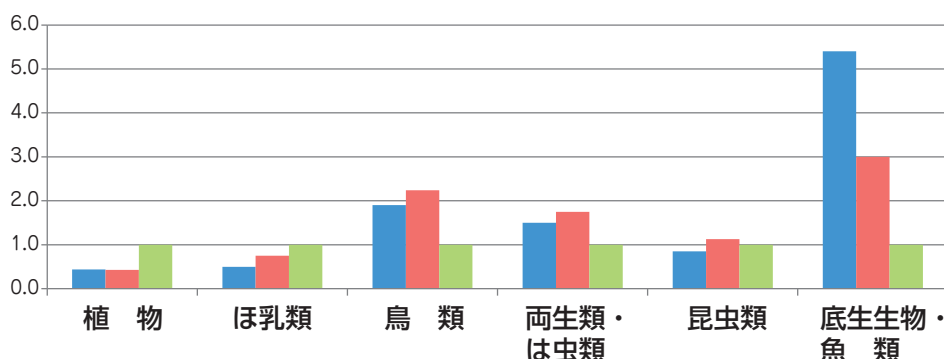
- 自然観察ルート
- 写真撮影ポイント



地下道に子どもが絵を描いている

この地図は、国土地理院の電子地図25000『成田』を使用したものである。

**確認種の推移**



■ 第1次調査  
■ 第2次調査  
■ 第3次調査

第3次調査時の確認種数を1.0とする。

第1次調査：平成5・6年度に水辺調査、平成7・8年度に陸域調査  
第2次調査：平成14年度に水辺調査、平成15年度に陸域調査  
第3次調査：平成26・27年度に動植物生息調査